

7/23 朝日

濃厚接触待機最短3日

検査キット無料配布

第7波対策

触者が発症する確率と、市中の陽性率に差がなく、隔離の意味は薄いと判断した。また、自治体の判断で事業所や保育所、学校では濃厚接触者を特定しなくてよいとしてきたが、これを徹底することにした。

発熱外来の追跡を防ぐた

【新たなコロナ対策の骨子】
【濃厚接触者】
待機は原則5日間、検査キットで2日目と3日目に陰性なら、3日目で解除
【発熱外来】
発熱外来で検査キットを無料配布。症状が軽ければ受診せず、健康フォローアップセンターに連絡して療養
【ワクチン】
4回目接種の対象を医療従事者や高齢者施設職員にも拡大
【保健所】
重症化リスクが低い人は、体調が悪化した時だけ健康観察をすることも可能
【病床】
即応病床を3万床から最大4万7千床まで準備を促す

厚生労働省は22日、新型コロナウイルスの「第7波」対策として、濃厚接触者の自宅などでの待機期間を原則7日から5日に短縮すると発表した。検査で最も短3日間の解除もできる。

重症化しやすい人がいる医療機関や高齢者施設、家庭のほかは、濃厚接触者を特定・行動制限しないことも徹底する。感染拡大とともに

に濃厚接触者も増え、社会が回らなくなる懸念が背景にある。▼3面=また政府後手、28面=手が回らない濃厚接触者の待機期間は、従来は原則7日待機、検査で最短5日間で解除できるようになった。これを原則5日間とし、2、3日目に検査キットで陰性なら3日間で解除できるようになる。ただし、7日目までは検温で健康観察をし、高齢者との接触などは控える。こうした期間で解除した後に濃厚接

に濃厚接触者も増え、社会が回らなくなる懸念が背景にある。▼3面=また政府後手、28面=手が回らない濃厚接触者の待機期間は、従来は原則7日待機、検査で最短5日間で解除できるようになる。ただし、7日目までは検温で健康観察をし、高齢者との接触などは控える。こうした期間で解除した後に濃厚接

め、医療機関で検査キットを無料配布。重症化リスクが低い人は陽性でも自己療養を促し、受診を控えてもらう。自治体の判断で、保健所では重症化リスクが高い人への健康観察を体調が悪化した時に絞つてもよいことにする。

4回目のワクチン接種の対象は、医療従事者や高齢者施設の職員らに広げる。秋以降にはオミクロン株に対応したワクチンの5回目接種も想定する。(市野塊)